

校長室より

令和4年5月6日(金)

「そうじをがんばる子」



ゴールデンウイークが終わりにさしかかってきました。今年のゴールデンウイークは昨年と違い、いろいろなところでわずかながら日常が戻ってきたように感じます。でも、まだまだ油断はできません。しっかりと対策をとった上での行動は今までとは変わりありませんね。

新年度を迎えて約1ヶ月がたち、子どもたちは学校生活に慣れてきたようです。それは元気にあいさつをする子が増えてきたことから伺えます。

それと感心したのが、そうじをがんばる子がとても多いですね。そうじの始まる音楽で全校生徒がそうじ場所に移動して整列。そうじ中も自分の分担場所はもちろんですが、分担以外のところも一生懸命活動しています。まさに「気づき」のそうじですね。「気づく」子は社会に出てからも活躍してくれます。毎日のそうじで、ぜひ「気づき」を身につけてください。先日、児童玄関前にたくさんの松葉が散らばっていたので、近くの子に声かけをしたところ、「はい。わかりました!」と大きな返事をしたかと思うと、どこからか大きな竹ぼうきを持ち出して、時間を過ぎてまで一生懸命松葉を掃きとってくれました。おかげで、学校の顔(玄関)が大変きれいになりました。本当にありがとう。

ふと近くの石碑に目をやると、「めざす児童像 長畝っ子 進んではたらく子…」と書かれてありました。

